



<Vol. 104 の記事>

開催案内 **浦スポ塾⑭ 100年続くクラブを目指して**

連載 **フレイバック20年① -2002年-**

2020年 みんなの夢を実現しよう！

● まずは、ウラスポ塾で話しをきいてください

浦スポは、来年で20周年を迎えます。そこで次の10年、2020年にむけてみんなで実現したい夢を掲げることとしました。**浦スポ・ネクスト10!** どんな夢を実現したいか・・・それを、これから1年間かけて、クラブに関わるみんなと一緒に整理していきたいと思えます。

そこで、まずは地域スポーツクラブって、他ではどうなっているの? どんなことができるの? どんなことが期待されているの? など、地域スポーツクラブに関するお話を、埼玉県体育協会クラブ育成アドバイザー(平成国際大学非常勤講師)の東方美奈子さんに教えていただく機会を、以下のとおり設けることとしました。

第14回 浦和スポーツ塾

講師：東方美奈子氏
(県体協クラブ育成アドバイザー)

日時：10月11日(日) 14時~17時

場所：浦和高校同窓会館 食堂

* 終了後に懇親会も開きます(参加費 500円)

● 一緒につくろうネクスト10!

東方さんにお話しいただいた後、クラブミーティングを開催します。

クラブには、プログラムに参加している会員、プログラムの現場をあずかる指導者、クラブの運営事務を担当してくれているスタッフ、運営をサポートするボランティアなど、様々な形で関わっている人がいます。

それぞれの立場で、クラブに関わっている理由や目的・どんなクラブになればいいかなあと考えていることなどが違うと思います。2020年にクラブがこうなっていればいいな! こんなことを実現したい!

例えば・・・

- ・ 芝生の専用グラウンドを持ちたい!
- ・ クラブからオリンピック選手を出したい!
- ・ 全英オープン出場者を出す!
- ・ 孫と一緒にサッカーをする!

とか・・・いろいろな夢・想いがあると思います。

こんな皆さんの夢を、2020年までにどうやってクラブという場で実現していくのかを考えるのが、“浦スポ・ネクスト10”です。

今回のクラブミーティングは、その第1歩です

終了後には、懇親会を開催します。ここでもいろいろな情報交換ができるとよいですね。

まずは、**第14回浦スポ塾で、地域のスポーツクラブってどんなことなのか、東方さんのお話を、ぜひおききください。**

インフルエンザ対応について

周辺の学校で、学級閉鎖や休校が相次いでいます。9月19日の星空スポーツも、浦高の休校の影響で中止になってしまいました。

クラブにはいろいろな学校の子も参加しているので、状況はそれぞれだと思いますが、新型インフルエンザへの感染や拡大を防ぐため、以下にご協力くださるようお願いいたします。

- 手洗い・うがいの励行、せき・くしゃみがでたらマスクを着用するなど予防を徹底してください
- 病み上がりや体調不良気味、発熱症状のある方はプログラムへの参加をご遠慮ください

学校で行なっているプログラムについては、学校に相談して実施の可否を決定していきます。駒場体育館のテニスや体操広場、駒場サッカー場のサッカー広場などは、原則としてお休みにはしませんので、各自で体調管理をお願いします。



2009年度も、浦和スポーツクラブでは、総合型地域スポーツクラブ活動助成を受けて活動しています。

連載③ すそを広げる地域SC

Vol.101で、トップレベルの引き上げにはプロ化が有効であり、そのためには、地域スポーツクラブによるすそ野の拡大が必要であるというお話をしました。

本号では、すそ野の拡大には、地域スポーツクラブが有効な理由を考えたいと思います。

●身近で運動のできる場を確保したい・・・

さいたま市がH15に実施した市民アンケートでは、ス「スポーツの出来る場所が身近に欲しい」という意見が最も多く出されていました。

スポーツジムは高いし・・・ジムではサッカーやバスケットはできない・・・じゃあ公共施設は？ 学校は？ こういった施設は個人ではなかなか借りることができないし・・・と、そこで諦めてしまう人もたくさんいます。

また、仲間を集めて団体をつくる人もいますが、今はサークルがたくさんあって、抽選の倍率が高かったり、新しい団体が入りづらかったりすることもあります。

●一緒に楽しむ仲間を近所で探したい・・・

最近、昔のように、地域の行事にみんなが参加して、「じゃあ一緒に野球でもやろうか！」というようには、簡単にはなりません。特に、他県から転入されてきた方も多い首都圏近郊の都市では、横のつながりは以前よりも希薄なものになっています。

お子さんの学校などで顔を合わせることが多いお母さん達でも、最近では、働いていらっしゃる方も多く、同級生の保護者同士が、同じ時間に同じように活動できるとは限らないのではないのでしょうか。

●指導者を探してる・・・指導の場を探してる・・・

さいたま市には、いろいろなスポーツの指導者の資格や経験を持った方が多くいらっしゃるのですが（H15の市の調査結果）、情報がつながらず、なかなかうまいマッチングは進んでいないようです。これも、地域の横のつながりが希薄になったためかもしれません。

また、スポーツリーダーバンクのような仕組みもありますが、行政が運営するシステムは、地域の細かい情報までフォローできなくなっているのが現状です。

●地域スポーツクラブは、スポーツの町内会！

市民のニーズが多様化すると同時に、行財政改革も進む中で、行政だけでは地域のいろいろな諸問題に対応することができず、近頃は、やたらと「市民と行政との協働」という言葉が使われるようになりました。

行政は、役所という一つの組織がありますが、市民は一つの組織ではありません。「市民と行政との協働」というだけでは、実際には何も進まないのが現状で、市民の側も組織化していくことが必要です。体育協会や〇〇連盟は、大会の運営や競技者の育成が中心的な活動であり、地域のスポーツの場の確保には手がまわっていません。こういった調整役として期待されているのが地域スポーツクラブです。スポーツの町内会とも言える地域スポーツクラブは、すそ野の拡大に欠かせない理由です。

プレイバック浦スポ① 2002

来年の20周年にむけて、これまでのトピックを紹介していきたいと思います。1回目は・・・1991年の設立当時！ ではなく、ワールドカップが日本で開かれた2002年から話題を紹介します（設立当時についてはまだ資料整理が終わっていないのです・・・）。

この頃は、まだサッカーだけの活動でした。

●U18とU15卒業記念にクラブ内の大会を開催！

写真は2002年3月に開催した、U18とU15の卒業記念に行なったクラブ内の紅白戦の後の集合写真です。

中1の時には、軽くあしらっていた子ども達に、大人達がチンチンにされるようになっていました。

いろいろな道に進んでいきましたが、その後、クラブのことを手伝ってくれる卒業生も少なくありません。



●駒場が人工芝に！ サッカー広場が始まる

クラブの現在のよう活動に取り組む大きなきっかけとなったサッカー広場が始まったのが8月です。駒場サブが人工芝になったのがとてもありがたかった・・・

ユニフォームも、まだそろえていませんでした。初回は、夏休みだったこともあり、生涯コースの会員もたくさん手伝いに来てくれていました^^



1回目30人くらいで始まり、2回目には50人、3回目には、100人近い子ども達が集まってきてくれ、現在の広場の基礎が少しずつ築かれていきました。当時、小4で参加してくれた子は、今高校生！ U18再開したからみんなおいで！^^！

●U15の婦恋合宿に便乗 サラリーマンカップ参戦！

この頃、U15の合宿は群馬県の婦恋に行っていました。保護者の方や、生涯コースの仲間も付き添い、地元で開催されていたサラリーマンカップにも参戦したりしていました。



当時の会議の記録をみると、この頃からNPO法人化にむけた議論が本格化していました。U18の卒業生たちが広場にたくさん手伝いに来てくれたことが、クラブに大きな変化をもたらしたと思います。